

カーボンハーフスタイル推進資料

指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル
推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
じゅんかんがた社会とカーボンハーフ

表題





- ねらい
- ・ごみを減らすことが地球温暖化対策につながることを理解する。
 - ・循環型社会の考え方を知る。
 - ・3Rの取り組みについて考える。

本教材で扱う
主な内容

ごみと地球温暖化、循環型社会、3Rの取り組み

主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、ごみとして捨てられたものがどうなるのか考える。	○身の回りのものは、地球の資源から作られていることを説明する。 ○地球の資源には限りがあることを説明する。 ○ごみとして捨てられたものがどうなるのか質問する。	◆掲示用教材① ワークシート① ■東京都環境局 たのしく学ぼう TOKYO 環境学習ひろば 
○推進資料②を見て、ごみを燃やすことで、二酸化炭素などの温室効果ガスが排出されることを知る。	○ごみを処理するときに地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスが発生することを説明する。	◆掲示用教材② ◆カーボンハーフスタイル推進資料2号 ■広報東京都 こども版 街を守るごみ処理の仕事 
○推進資料③を見て、循環型社会の考え方を知る。	○「ものを捨てず、繰り返し使う」という循環型社会の考え方を、掲示用教材③の図を用いて説明する。	◆掲示用教材③
○推進資料④を見て、それぞれのイラストがどのような取り組みであるのか考える。 ○ごみを減らすためにできることについて話し合う。	○ごみを減らすための取り組みが、3Rと呼ばれていることを説明する。 ○イラストを参考に、自分ができる行動について考えるよう声掛けをする。	◆掲示用教材④ ワークシート② ワークシート③

